



ミニアロイ空気弁LF



株式会社キツツエスジーイース

取付け・取り扱い説明書

ご使用前にこの説明書をよくお読みください。

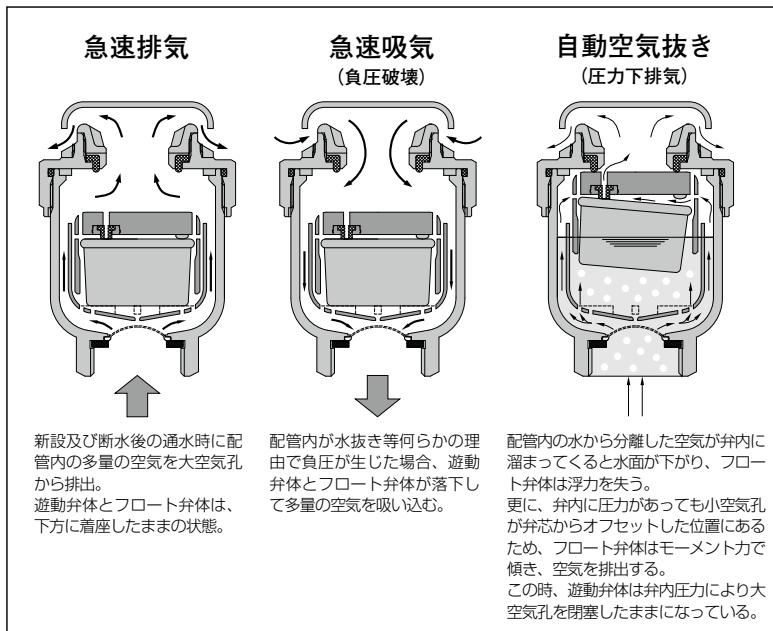
■仕様

- 使用流体…水道水（常温）
- 使用圧力…0.05~0.75MPa
- 耐圧…1.75MPa

■オプション品

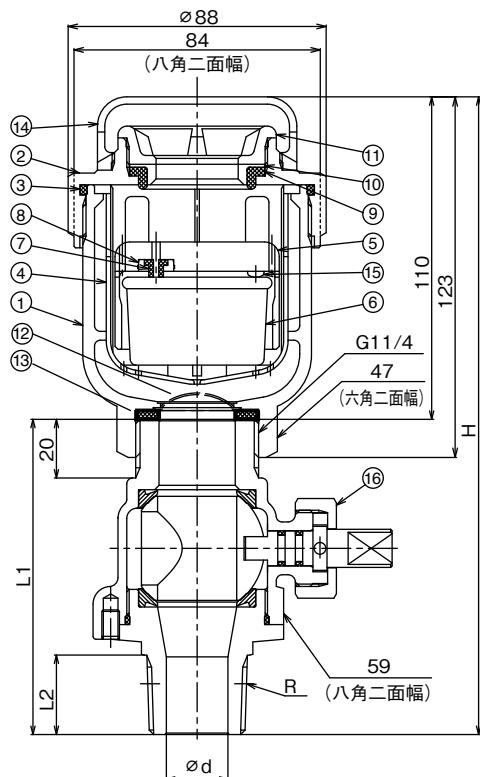
- 空気弁用ボール弁…13(R3/4)・20(R1)・25(R1 1/4)
- 防寒カバー
- メタル入り合フランジ…75×13・75×20・75×25

■機能



■構造

●AMLF



主要寸法表

記号 呼び	R	φd	L 1	L 2	H
13	R 3/4	14	105	24	215
20	R1	21	107.5	27	217.5
25	R1 1/4	26	110	30	220

主要部品表

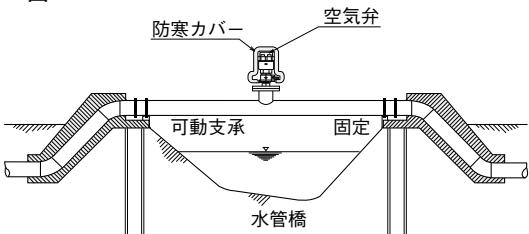
品番	部品名	材質
1	本体	CAC911
2	ボンネット	CAC911
3	Oリング	NBR
4	バケット	POM
5	遊動弁体	PP
6	フロート弁体	NBR+フェノール樹脂
7	小空気孔パッキン	NBR
8	小空気孔パッキン押え	PP
9	大空気孔パッキン	NBR
10	大空気孔パッキン押え	CAC902C
11	キャップ	CAC406又はCAC911
12	ストレーナ	SUS304
13	パッキン	NBR
14	カバー	CAC406
15	樹脂ビス	PC
16	ボール弁	鉛フリー青銅

■設置例

●AMLF

■水管橋への設置

図1

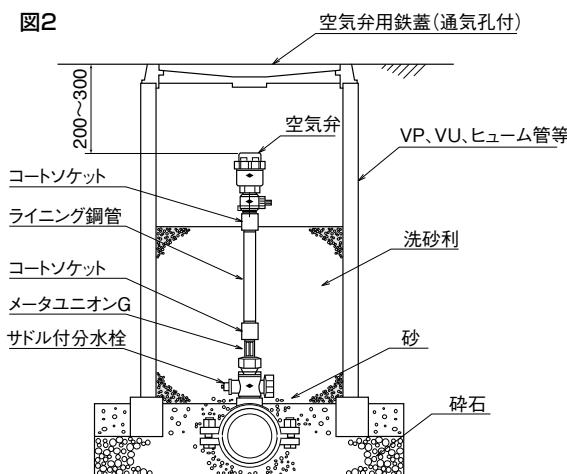


▲注意

凍結の恐れがある場合には、防寒カバー等により凍結防止策を施してください。

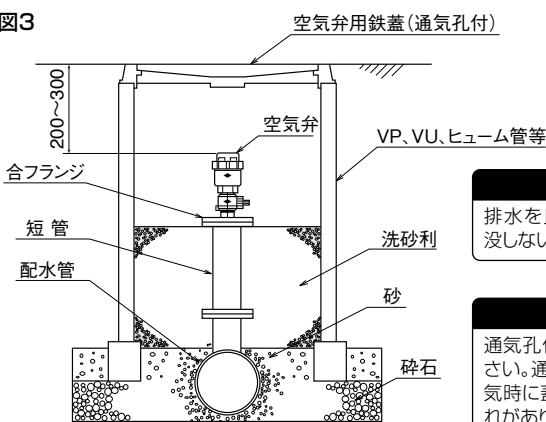
■空気弁室（サドル付分水栓取付け）

図2



■空気弁室（フランジ取付け）

図3



▲注意

排水を良くして、空気弁が水没しないようにしてください。

▲注意

通気孔付鉄蓋を使用してください。通気孔が無いと、急速排気時に蓋が吹き上げられる恐れがあります。

■取付け、取り扱い上の注意事項

- 仕様の範囲でご使用ください。また、吸排気以外の目的、水撃対策、使用圧力範囲外などでのご使用は、漏水や故障の原因となりますのでおやめください。
- 取付け姿勢は鉛直とし、2°以上傾かないようにしてください。傾きが大きいと作動が緩慢になったり、排気量が少なくなるなど支障をきたす場合があります。
- 浸水の恐れのない場所に設置してください。地中へ筐などで設置する場合は、短管により高さを調整し、碎石・砂などで排水を良くして、汚水の流入を防いでください。また、弁の点検・修理などの作業のため、十分な周囲空間を設けてください。
- 筐の蓋は通気孔付を使用してください。通気孔が無いと急速排気時に蓋が吹き上げられる恐れがあります。(図2、3)
- ボルト弁はシールテープ等のシール材を使用し、サドルバンドや異径フランジに確実にねじ込んでください。
- ねじ部は鋭利なため、直接素手で握らないように注意して扱ってください。また、取付け作業は、手袋などをして行ってください。
- 空気弁本体の取付け前に、ゴミ等の異物を十分に排出してください。
- 多量排気を目的に使用する場合、ストレーナを取り外して使用してください。
- ボルト弁など、開閉の容易なハンドル付補修弁を必ず取付け、ゆっくり開閉し、全開で使用してください。
- ボルト弁などの補修弁の小さい開度での充水は、乱流により大空気孔を閉塞しないことがあります。そのときは閉栓し、再度開栓してください。
- 充水速度が速いと、遊動弁体の吸い付き限界を超えて大空気孔を閉塞したり、水撃を発生することがあります。配水管口径が大きい場合には、特に注意してください。
- ボルト弁などの補修弁を開いて空気弁に充水するとき、遊動弁体およびフロート弁体が浮き上がるまでの僅かな時間だけ大空気孔から水が出ます。
- 凍結が予想される場合には、防寒カバー(オプション)などで凍結防止策を講じてください。(図1)
- 解氷作業などの直火等による加熱は、漏水の原因となりますのでおやめください。

■保守

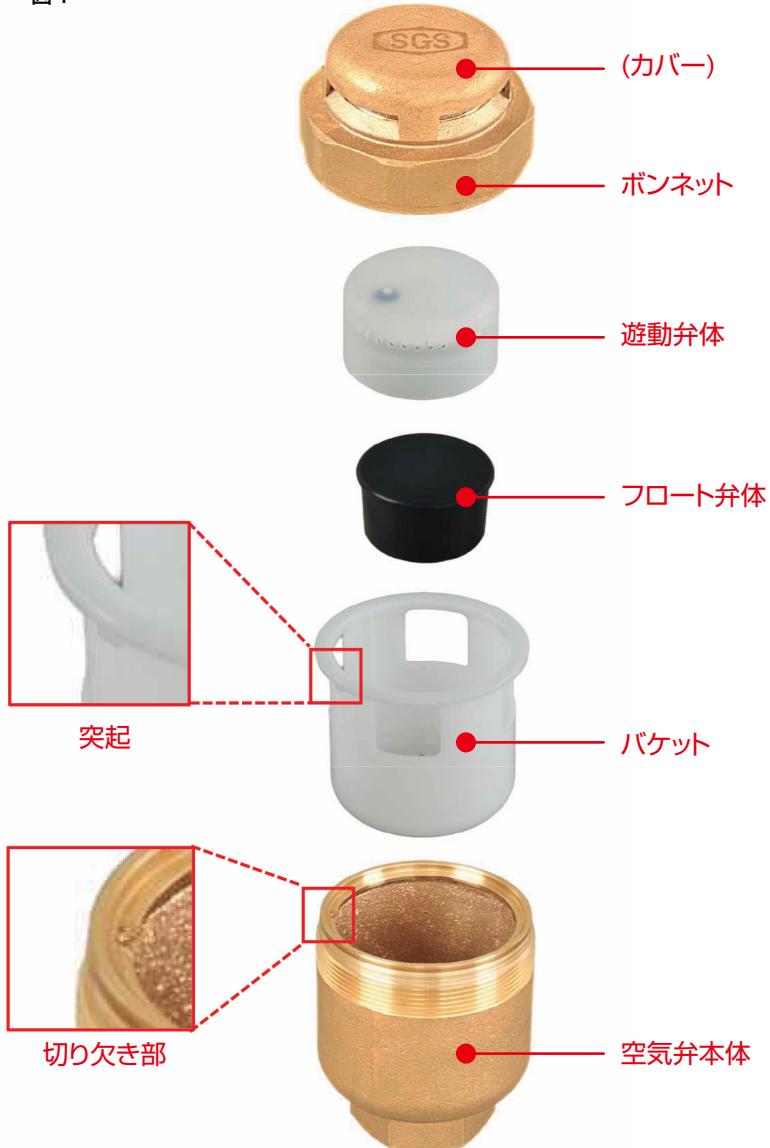
- 漏水事故は、部品の消耗・劣化による機能低下やゴミ噛み、凍結、規定された条件以外での使用、取付け条件に従っていない設置などにより発生します。日常点検により、漏水の有無を確認し、適切な保守を行ってください。

■点検

- 空気弁より水が漏れ続け止まらない場合には、ボール弁など補修弁を閉め、空気弁を取り外し、ストレーナの清掃や、流水による内部洗浄を行ってください。それでも止まらない場合は、部品の消耗・劣化が原因によるものと考えられますので、新品と交換してください。
- 組立時には、バケットの突起が空気弁本体の切り欠き部に入るようにし、フロート弁体・遊動弁体の順で部品の上下を間違えないように組み立ててください。(図4)

■空気弁の分解組立手順

図4



お問い合わせ先

本社・工場 TEL.0749-23-3131 名古屋支店 TEL.052-222-7282
札幌営業所 TEL.011-242-8871 大阪支店 TEL.06-6533-0471
仙台営業所 TEL.022-217-1312 中国四国営業所 TEL.086-227-2510
東京支店 TEL.03-3370-6586 九州営業所 TEL.092-409-0996